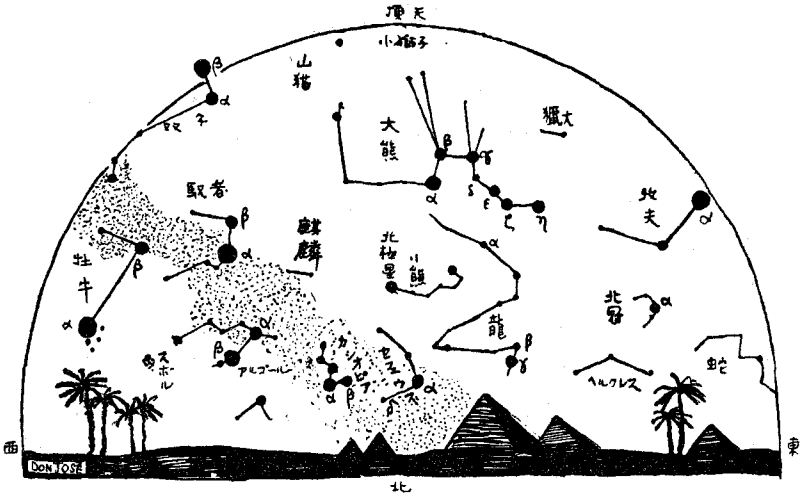


四月の星の空（北半）

恒星界

花吹雪に包まれた山寺や，蝴蝶舞ふ菜の花畑，さては大空に囀ずる雲雀等，凡ては春の暖かさの中に夢の様に展開する．

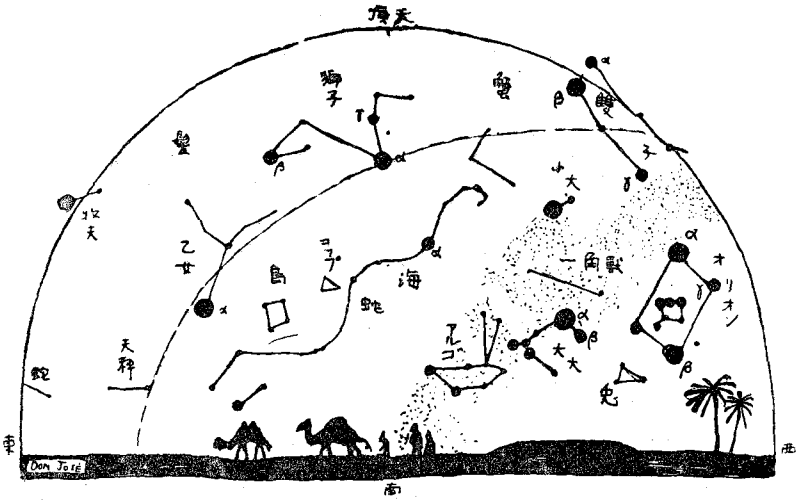
のどかな感じ，それは地上ばかりでない．オリオンが西に低く，淡い光を投げて靜かに沈むと，朧にかすむ全天は，柔かな光に滿ちた春の星座で一ぱいとなる．

たとへ，一花だにない砂漠の地，ピラミッドの間を逢ふて行く旅人でも，此の春を象徴する星の瞬きを見る時，北半球の冬はもう過ぎ去つて了つたのだなと氣が付くであらう．

銀河は西に傾むいて了つた——冬におなじみだつたアルゴ，大犬，オリオン等と共に——そして大熊，獅子，海蛇等が今我が子午線を通過してゐる；東から西へと．セフエウスも亦子午線を通過してゐる，併し此れは北に低く西から東へと

凡ては北極星を中心に圓を畫いて廻つてゐる，從つて北斗七星や獅子，海蛇は見える位置の内で最も地平線から高い位置は來てゐるのであるし，セフエウスは最も低い位置に來てゐるのである．

東の空には北冠や天秤が今登つたばかり．ヘルクレスや蛇は現はれ始めてゐる獅子のあとに牧夫や乙女が續いて上り，北斗のあとに龍が從ひ，セフエウスに並んでカシオペア，ペルセウス，牡牛が地下へと急ぐ．かくて星座の廻りも，全く春の歩調である．



四月の星の空（南半）

太陽系

太陽は月中ば過ぎまで白羊宮にあるが，20日金牛宮に侵入する．星座は中旬まで魚座で，下旬は牡羊座に入る．

月は	5日午後	0時38分	満月
	13日午後	5時 9分	下弦
	20日午後	2時25分	新月
	27日午前	6時42分	上弦
	8日午前	9時	遠地點通過
	21日午前	4時	近地點通過

水星は曉の東天，月始めには太陽の登る一時間前に現はれる．8日午前11時に金星と合．13日午後5時天王星と合等あるが月末には太陽に全く接近する．

金星は殆んど此の月中，太陽より一時間前に東天に現はれる．光度が負3等であるからよく見える．15日朝天王星と合，19日午前3時月と合，29日夕刻木星と合等あり．光度は負3等．

火星は曉東天の星，太陽より3時間前に登る．光度は正1等で水瓶星座中を順行．16日午後10時月と合．

木星は今迄宵の西天であつたが，月始めは全く太陽に近く，6日此れと合となる．が月末には曉に太陽より1時間早く登る様になる．

土星は夜半に登り午前3時頃南中．10日午後10時月と合．

天王星は曉，月始め太陽に近いが月末には見られる．光度6等．18日午後8時月と合．

海王星は宵の8時頃南中，例に依つて獅子座首星に近い．光度8等，